

〈めぐる学校教育プラン〉

21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐるの子ども

- 確かな学力…基礎・基本の定着と自ら学び考え問題解決を図る力など
- 豊かな心…自らを律しつつ、他人を思いやる心や感動する心、前向きに取り組む力や創造する力など
- 健やかな体…生涯にわたり健康な生活を営む力など

〈文部科学省 研究開発事業 研究開発課題〉

児童の学びや生活の質の向上を図るため、学校教育法施行規則第51条の規定によらず、一単位時間を40分とし、創意工夫ある教育課程、各教科等の指導方法、適切な授業時数の在り方について研究開発を行う。

〈学校教育目標〉

- ◎かしこい子
- やさしい子
- たくましい子

【児童の実態】

- 自己の課題に対し、まじめに取り組む、主体的に解決しようとする児童が多い。
- 友達と協力して学習しようという意欲が高い。
- 友達に思考の過程を説明することに課題が見られる。
- 友達の考えをまとめ、新たなものをつくり出すことに課題が見られる。

研究主題

「主体的・対話的で深い学びを実現する40分授業の授業展開の工夫」
～算数科を通して～

目指す児童像

数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的に学ぶ子

「低学年」

疑問をもとに 生活経験や
既習事項を使って ともに
考えようとする子

「中学年」

根拠を明らかにして、筋道を立てて
考える子
自分の考えを伝えたり友達の考え
を聞いたりして、より良い考えをつくれる子

「高学年」

根拠をもって立式できる子
既習内容を生かして問題解決する子

数学的な見方・考え方を働かせながら、「根拠を明確にして自分の考えをもったり伝えたりする」「友達の考えを生かし、ともにより良い考えをつくる」には、どのような指導が効果的か。

課題把握の場において、知的好奇心を高める問題提示や、解決したいと思わせる工夫をすることで、主体的に取り組む態度を高められるであろう。

集団検討の場において、「友達に分かりやすく説明しよう」という視点を与えることで、既習事項をもとに根拠を明確にした対話が生まれるであろう。

まとめの場において、めあてを意識しながら本時の学習内容を振り返ったり整理したりすることにより、数学的な見方や考え方が少しずつ定着していくであろう。